

「WILLER バスターミナル大阪梅田」に無人決済システム「TTG-SENSE」を導入 ～レジ待ち不要の新たな購買体験で、高速バス利用者の利便性向上と店舗運営の効率化を実現～

WILLER EXPRESS 株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役:平山 幸司)は、株式会社 TOUCH TO GO(本社:東京都港区、代表取締役社長:阿久津 智紀、以下:TTG)が開発した無人決済システム「TTG-SENSE」を「WILLER バスターミナル大阪梅田(所在地:大阪市北区大淀中 1-1-88 梅田スカイビルタワーイースト 1 階、営業時間:6:00～24:30)」に導入し、2026年6月30日(火)にオープンします。



「WILLER バスターミナル大阪梅田」は、これまで自動販売機やお土産コーナーを設置し、お客様の利便性向上に努めてまいりました。しかし、高速バスの出発前後という限られた時間の中で、よりスムーズに買い物したいというニーズが高まる一方、限られたスペースや運用体制の中では十分な商品ラインナップを提供することが難しく、更なる利便性向上が課題となっていました。

このたび導入する「TTG-SENSE」により、お客様はレジに並ぶことなくスムーズに買い物を楽しめるようになります。高速バスの出発前や到着後の短い時間でも、ストレスなく商品を購入できる快適な購買体験を提供します。

商品ラインナップは、大阪土産やバス車内で役立つ便利グッズをはじめ、紀伊國屋のプライベートブランド商品、ビルのオフィスワーカー向けの軽食や飲料など、多様なニーズに対応した商品を取り揃えます。これにより、バスターミナルを利用されるお客様だけでなく、周辺で働く方々にも日常的にご利用いただける店舗を目指します。

「TTG-SENSE」は、天井に設置されたカメラと棚の重量センサーにより、お客様が手に取った商品をリアルタイムで認識する無人決済システムです。商品を手に取って決済エリアに立つだけで、タッチパネルに購入商品と金額が自動で表示されるため、商品をスキャンすることなくスムーズに会計を行うことができます。

本取り組みを通じて、高速バスをご利用のお客様の利便性向上と店舗運営の効率化を両立するとともに、交通拠点における新たな購買体験の創出を目指してまいります。

<詳細>

■無人決済システム「TTG-SENSE」の特長

～商品棚 1 本から展開可能、多種多様な商品・販売方法に対応している無人店舗～

1. 手に取った瞬間に商品を判別し、商品スキャンが不要なためクイックな購買体験を実現
2. 遠隔監視と遠隔接客による後方支援で、売店担当者の負荷を軽減
3. 電源と小さなスペースがあれば出店できるため、デッドスペースの有効活用が可能
4. 多様な決済手段で支払い手段による機会損失を低減し、売上の最大化に貢献
5. AI 分析基盤の活用により、商品を手に取った後、棚に戻した行動も解析可能

